

東京海上と MaaS Tech Japan
MaaS 領域における更なる協業推進に向けた資本業務提携契約を締結
～新たな MaaS サービスや保険商品の共同研究を通じたモビリティ社会への貢献～

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長グループ CEO:小宮暁、以下「当社」と)、株式会社 MaaS Tech Japan(代表取締役:日高 洋祐、以下「MaaS Tech Japan」)は、今後の MaaS 社会の進展を見据え、新たな MaaS サービスや保険商品の共同研究を目的とする資本業務提携契約を締結しました。

1. 背景・目的

自動車・バイク・タクシー・バス・鉄道・航空など、あらゆるモビリティサービスを「1 つのサービス」として繋げる Mobility as a Service(MaaS)は、国家の成長戦略にも掲げられており、移動手段の確保や利便性向上だけでなく、地方創生に向けた重要な要素として必要性が高まっています。

当社は、高度化・複雑化する現代社会において、社会を取り巻く様々なリスクに対する保険や専門性の高いリスクソリューションを提供してきました。また、MaaS 領域においても様々なプレーヤーと共にデータを用いた様々な実証実験や新たなサービス開発を進めています。

MaaS Tech Japan は、自治体や事業者による MaaS プロジェクトの推進支援、自治体と連携した MaaS 実証実験への参画を行うとともに、MaaS ビッグデータ統合・AI 分析基盤「TraISARE(トレイザー)」[※]等の開発・提供を進めています。

東京海上グループの東京海上日動火災保険株式会社と MaaS Tech Japan は、2020 年 6 月に業務提携を行い、それぞれが保有するノウハウやリソースを活用した協業を進めてきましたが、更なる協業推進のため当社と MaaS Tech Japan での資本業務提携契約の締結に至りました。

※ TraISARE(トレイザー:Transport Information Store with Aggregator, Receiver and Encoder)は、交通に関する多種多様なデータ(モビリティデータ)をシームレスに統合し、統一的な取り扱いを可能とするデータ統合基盤。

2. 今後の主な取り組み

東京海上グループと MaaS Tech Japan は、自治体・交通事業者などと連携し、様々な地域・エリアでの MaaS プロジェクトに参画し、新たな MaaS サービスや保険商品の共同研究などを進め、移動手段の最適化や安心・安全な地域モビリティ社会の構築に向けた貢献を図ってまいります。

【取り組み内容】

- ① MaaS 領域における様々なプレーヤーとのパートナーシップ構築および協業
- ② 東京海上グループの保有データを活用した新たな MaaS サービスの共同開発
- ③ MaaS 領域における新たな保険サービスの共同研究

【株式会社 MaaS Tech Japan について】 URL: <https://www.maas.co.jp/>

- 所在地:東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 6 号
- 代表者:代表取締役 日高 洋祐
- 創業:2018 年 11 月